

# 小噺・落語入門サロン

## ■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



「馬鹿話」「馬鹿の番付」

### 噺のまくらシリーズ

#### ④ 「親子三人馬鹿」

落語は馬鹿々々しい話ですが、その落語に出てくる馬鹿の代表選手が、智恵足りない「与太郎さん」に、常識の足りない「権助」です。昔から馬鹿にも四十八馬鹿あるそうです。古い噺に「親子三人馬鹿」というのがあります。

弟が物干しに上がり長い竿を振り回している。「おーい、そこで何してるんだ?」「兄ちゃんか。上で光っている星をこれで叩き落そうと思って」

「馬鹿だなあ、そんな短いものじゃあ届かないよ。もう一本足してみろ」二人が長い竿を振り回していると・・・

「おいおい、二人で何してるんだ?」

「いやあ、お父つあん。上に光っている星を叩き落そうと思って」「馬鹿!いくらやってもあれは落ちないよ!」「ふーん、何だい?あの光ってんのは」「あれは、雨の降る穴だ!」

その他にも、落語には馬鹿の出でくる噺がたくさんあります。



## ■ 二つ目 (小咄の稽古)

小ばなしの話し方のコツ・ツボをディスカッションしよう!

今月のテーマは「セリフの覚え方」

皆さんは、小ばなしのセリフをどうやって覚えますか?

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

## ■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「塩」「霜」とかけて

次回は2020年12月7日(月)「マフラー」「サンタクロース」